

【学芸員お薦めの一品】

国際交流展「^{うみやま}海山に宿る神々～^{さいし}日韓の祭祀遺跡～」

2018（平成30）年10月6日～12月2日

企画展の開催期間中、週替わりでお薦めの展示品を紹介します。

No.5 高麗王室の儀式と関係する高級青磁

^{さんたく}蓋托とは茶道具の一種で、茶碗（蓋）の下に敷く受け皿のことです。この蓋托は^{しょうばん}承盤内面に^{ちりゅう}螭龍（みずち：古代の水神で龍の一種とみなされる）の文様が描かれています。破損していることに加え、釉薬が濁っていて文様が不鮮明ですが、1匹は頭部、もう1匹は胴部が確認できます。螭龍文は中国の宋代において皇室に関わる器物に使用されており、また高麗王室関連の高級青磁を生産した^{カンジンサダンニ}康津沙堂里陶窯址でも螭龍文を施した青磁蓋托が出土しています。こうした点から、この器はおおよそ12世紀頃に製作され、高麗王室が行った儀礼に関連する容器であった可能性が指摘されています。



青磁陰刻螭龍文蓋托／^{ウォルチュルサン}月出山祭祀遺跡（^{ヨンアム}韓国全羅南道靈岩郡） 木浦大学校博物館所蔵

【参考文献】木浦大学校博物館 1996 『^{ウォルチュルサン}靈岩 月出山 祭祀遺跡』木浦大学校博物館学術叢書第39冊
李 準光 2017 「高麗螭龍文青磁の特質と用途」『美術資料』第92号 国立中央博物館
※いずれも韓国語文献